

台湾の文化と国際交流について

千葉県立君津商業高等学校 教諭 北岡 謙一

1 はじめに

本事業は、千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」に基づき、多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成を目的に平成30年度から産業分野における教育交流を行っている。平成30年度は農業を学ぶ生徒、令和元年度は工業を学ぶ生徒、そして今年度は商業を学ぶ生徒を対象に千葉県と台湾との商業教育分野での交流拡大を目指し、千葉県国際教育交流事業として実施された。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3年ぶりの国際交流事業となり各学校での国際交流が難しい中、海外での研修の機会をいただき、普段の学校生活では送ることのできない経験をすることができた。

2 事前研修等

10月31日の打ち合わせから、Zoomを使ってオンラインでの打ち合わせや研修を行った。数年前からオンライン会議等が増えたため、教員側は違和感なく行う事ができたが生徒はオンライン会議等の経験が少ないため、マイクの切り替えなど不慣れな様子であった。

研修日程

日	時間	内容
10月31日	16:00～	事前打ち合わせ(職員のみ) ・自己紹介、今後の予定・手続等を確認
11月14日	15:30～	事前研修 ・自己紹介、発表資料提出、連絡事項等
11月25日	16:00～	中壱商業高級中等学校との事前交流会 ・各学校の紹介等
12月8日	16:30～	最終打ち合わせ ・しおりの確認等

事前研修では台湾について調べることを目的に、台北での半日旅行プランを各校が作成し事前研修で発表した。台湾への知識を深めるとともに、資料を作成することにより商業高校で学習した文書作成技術を確認する機会となった。旅行プランの詳細については、株式会社JTBの方からアドバイスをいただき、実りの多い事前研修となった。

中壱商業高級中等学校との事前交流会では、自己紹介に加え各校の特色等を中心に学校紹介を行った。自己紹介では、多くの生徒が中国語で自己紹介を行うなど生徒が積極的に参加する姿が随所に見られた。

4回の研修以外にも、Microsoft Teamsで連絡・調整を取りながら、現地での交流会へ向けたお土産の検討やプレゼンテーションの準備・資料の作成に取り組んだ。また、入国手続オンラインサービス「Visit Japan Web」により入国審査や税関申告・検疫(ファストトラック)について事前に登録を済ませる等の準備も行った。

3 台湾研修の行程

日	内容
12月13日（火）	11:00 成田空港第1ターミナル集合 14:00 成田空港発 エバー航空197便 台北（桃園国際空港）到着後入国審査等の手続 ホテル（THE METRO HOTEL 豪爵大飯店）へ
12月14日（水）	・台北市内視察（東三水街市場、龍山寺、国立故宮博物院） ・企業訪問（Xpark） ・交流会へ向けた発表準備
12月15日（木）	・中壢商業高級中等学校との交流会 ・士林夜市の見学
12月16日（金）	・中正紀念堂 ・カルフル桂林店視察 15:20 台北発 エバー航空196便で帰国 成田空港到着後解散

4 1日目

研修初日、初めて成田空港で生徒・職員が顔を合わせた。生徒は、初めて会った生徒ともすぐに打ち解け、商業で学んだコミュニケーション能力の高さが伺えた。1日目の行程は、出国・入国等の手続きや移動が中心となっていた。出国、入国の手続きも機械化されており、初めての経験ばかりであったがスムーズに手続きを進める事ができた。台湾入国時に抗原検査キットを受け取り、ホテルで検査を実施した。当初予定されていた士林夜市の見学は、時間の都合で3日目へ変更となった。

5 2日目

午前は台北市内視察（東三水街市場、龍山寺、国立故宮博物院）で各名所を見学し、午後は企業（Xpark）を訪問した。

東三水街市場は、地元の人たちの台所を支えているとも言われアーケード街には肉や海産物・野菜はもちろん、惣菜店や飲食店も多く立ち並び賑わっていた。市場は日本の商店街に似た様子で、周辺の建物なども歴史を感じさせる雰囲気漂っていた。また、剥皮寮歴史街区はレンガ造りの建物が並び、清朝時代から街並みから台湾の歴史を感じる事ができた。

龍山寺は、台北で最古の寺院として地元の人たちからも厚い信頼を受けている様子であった。建物は、芸術的な装飾が施されており観光客からもパワースポットとして人気の寺院でもある。龍門から入り、虎門から出る参拝手順となっており、おみくじでは赤い三日月型の木片を投げる体験をし、文化の違いに触れる事ができた。

国立故宮博物院は、世界的にも有名な博物館であり台湾の歴史を美術品などから学ぶ事ができた。人気の作品である「翠玉白菜」はデジタル画像により目にすることができ、「肉形石」は実物を見る事ができた。完成度の高さに驚かされるとともに、歴史的背景

を伺い学びの多い時間となった。

Xparkは、2020年8月にオープンした都市型水族館であり、日本でも4つの水族館を手がける日本企業（株式会社横浜八景島）の現地法人が運営する水族館である。現在の海洋ゴミについての問題を提起する展示や、AIによる未来の海の様子が描かれた展示がとても印象的であった。水族館の見学後に、日本人から台湾に渡り獣医師として働く方の講演を伺い世界で働く姿に刺激を受けた。



東三水街市場



龍山寺



Xpark

6 3日目

台湾で商業を学ぶ、桃園市立中壢商業高級中等学校の生徒との交流会を実施した。学校到着から熱烈な歓迎を受け、開会セレモニーではあいさつの後に、千葉県・商業高校の紹介、生徒による千葉県旅行プラン発表、中壢商業高級中等学校の生徒による歌の発表が行われ交流会がスタートした。午前は開会セレモニーと体験授業、学校見学、午後も体験授業と充実した1日であった。

午前の体験授業では、パソコンでAIによる画像作成ソフトを使い画像を作成する授業を体験した。初めて使うソフトで少し戸惑いもあったが、現地校の生徒によるサポートもあり楽しく学ぶことができた。授業中に日本の音楽を流すなどの配慮も頂き、生徒も現地の生徒とすぐに打ち解けていた様子であった。

学校見学では、校内の食堂・図書館や自習室などを見学した。どの施設も公共の施設のような設備であり、豪華な設備に驚かされた。台湾の学校は、部活動においては活動日数や活動時間が日本に比べて少ない様子であったが、自習室は夜9時まで使用できるなど日本との違いを知ることができた。

午後の体験授業は、インターネットでの商品販売を想定しホームページを作成する授業を体験した。教室のレイアウトや授業の雰囲気、大学での授業のような雰囲気で展開され生徒たちの活発なアイデアが作品で表現されていた。



学校外観



千葉県生徒の発表



体験授業

今回の交流会では、初めて触れあう生徒とは思えないほど千葉県の生徒と台湾の生徒が打ち解け合っていた。帰る際は生徒が抱き合っただけを惜しむ姿も見られ、交流会の充実した様子を表していた。この交流がきっかけとなり、また新たな出会いが広がることが期待できる時間となった。

7 4日目

最終日の4日目は、中正記念堂の見学とカルフル桂林店視察を行い、桃園国際空港から帰国する行程であった。

中正記念堂は、中華民国の初代総統であった蒋介石に対する哀悼の意を込めて建てられたとされており、堂内には蒋介石の遺品や資料が展示され高さ6mを超えるブロンズ像が鎮座する。1時間毎に行われる衛兵交代式を間近で見学し、衛兵の糸乱れぬ動きに緊張感が張り詰め感動を憶えた。

カルフル桂林店の視察では、地元の人が買い物するスーパーとして視察した。特徴的であったのは「買1送1」などの表記で、これは「1つ商品を購入すると1つ無料でもらえる」ことを意味しており、台湾ではよく用いられる価格の表示方法であった。このほかにも「85折」などは、「元の値段×0.85(85%)」の値段で販売していることを表しており、日本の「15%割引」と同じ意味であるなど台湾ならではの商慣習に触れることができた。これらの商慣習は台湾のコンビニエンスストアや、街のスーパーでも同様であり台湾での生活では当たり前の光景であった。



中正記念堂



台湾での商慣習（買1送1の表記）

8 おわりに

現在の高校3年生は、入学時から新型コロナウイルスの感染拡大により学校行事等に制約があり、様々な活動が制限された中での高校生活を3年間送ることになってしまった。そのような状況も鑑み、本校からは多数の希望者の中から選考し3年生2名、2年生1名の生徒を派遣することになった。12月13日に初めて引率の先生方や他校の生徒と顔を合わせる形となったが、自ら積極的にコミュニケーションを図り、各研修においても自ら意欲的に参加する姿が見られ、学校内での活動が校外でも実践できていたことでとても頼もしく、次年度からの新たなステージでの活躍が期待できる姿であった。今回の台湾研修により、大きく成長した生徒たちの姿から研修の充実した成果が伺えた。私自身も今回の経験を今後の教育活動に生かし、多くの生徒の成長につなげていきたいと強く決意した研修となった。

本事業への参加の機会を頂いた千葉県教育委員会をはじめ、参加にご支援くださった関係の方々へ深く感謝いたします。